

## 12. 終わりに

砂漠化問題は、開発問題であり、アフリカ問題である。このことは、1970年ごろのサヘル地域の深刻な干ばつに対して「砂漠化」と呼称をつけて国際社会の支援を訴えたという歴史や、UNCEDの際にアフリカ諸国がイニシアティブをとった砂漠化条約交渉開始の合意作りの事実から明らかである。これは、DACの統計作業部会による砂漠化条約のマーカーの試行に際し、日本やベルギーが、「環境」のマーカーのついていないプロジェクト多数に「砂漠化」マーカーをつけたという事実(第11章(3))にも現れている。

他方、1977年の国連砂漠化会議で採択された砂漠化対処行動計画が十分に機能せず、また、そのフォローアップの一環で設立された国連砂漠化特別勘定も、ほとんど拠出する国がないまま廃止された事実からも、砂漠化問題への真の対処は、国連を主体にした政治的駆け引きでは効果的になされないことが明らかである。

そこで、砂漠化対処条約においては、コミュニティー・レベルの対処の重要性、既存の援助の仕組みの利用等について確認していることに着目し、国連を主体にした政治的駆け引きを抑制しつつ、二国間等の開発援助を効果的に振り向けて行くことが重要である。その際、アフリカ対策を第一に考える必要がある。実際、米国政府においてこの条約の締結に向けて一貫して動いていたのが国務省アフリカ局であった。

1990年の第3回締約国会議に我が国が提出した報告書やDACの統計作業部会の「砂漠化」マーカーの試行のために取りまとめた資料にもある通り、我が国は、砂漠化対策に関する援助は相当規模で行っている。そのため、砂漠化対策という面で我が国が重点を置いてとるべき対応は、援助の額を拡大することよりは、1994年のJICAの「砂漠化援助研究報告書」等を活かして、これまでの関係する援助を整理して、それを基に、我が国の砂漠化対策の方針ないし戦略を提示することであろう。

但し、JICAの「砂漠化援助研究報告書」はサブサハラアフリカについてのみ論じている。地球的条約として砂漠化条約が規定され、かつ実際に地球的締結がなされたことにより、アフリカ以外でかつ砂漠化問題のある国々及び他の条約等とのリンク戦略をとる国々の事情をも踏まえた、地球的問題として取り組みの戦略も必要となっている。

(了)

## 参考文献等

- Aubreville, 1949: Climats, forêts et désertification d'Afrique tropicale, Société d'Editions Géographique, Maritimes et Coloniales  
Earth Negotiation Bulletin, vol. 2, No. 6, No. 13 (1992)  
Earth Negotiation Bulletin, vol. 3, No. 2 (1993)  
藤原邦達、1992：ハンドブック地球環境危機：地球環境サミットの成果と課題、日本評論社  
International Union for Conservation of Nature and Natural Resources, 1990: World Conservation Strategy, International Union for Conservation of Nature and Natural Resources  
環境庁地球環境部(編)、1993：改訂地球環境キーワード事典、中央法規

Robert O. Keohane and Joseph S. Nye (1989): Power and Interdependence, Second Edition, Harper Collins  
桑原幸子、1991: 地球的規模の環境問題と国際法 環境条約の発展のその意義、人間環境問題研究会編集「環境法研究」19号(特集: 地球環境問題と国際的対応、1991年10月号)、有斐閣  
DAC Working Party on Statistics, 2000a: Aid Targeting the Rio Conventions: Draft Report on the Pilot Study (DEC/DAC/STAT(2000)8)  
DAC Working Party on Statistics, 2000b: Aid Targeting the Rio Conventions: First Results of the Pilot Study: Convention to Combat Desertification  
門村浩、1992: サヘル: 変動するエコトーン、門村浩・勝俣誠(編)「サハラのほとり: サヘルの自然と人々」所収、TOTO出版  
Danish, Kyle W. (1995): International Environmental Law and the "Bottom-up" Approach: A Review of the Desertification Convention, Indiana Journal Of Global Legal Studies, Vol. 3, No. 1 (インターネット版: <http://www.law.indiana.edu/glsj/vol3/no1/danish.html>)  
Mageed,Y.A.: The Integrity of the Environment and Water Management Case in Arid and Semi-Arid Zones in African South of the Sahara, in *Symposium on Water Resources Management with the Views of Global and Regional Scales, November 18-20, 1991*, Lake Biwa Research Institute  
Gareth Porter and Janet Welsh Brown, 1991: Global Environmental Politics, Westview  
Gareth Porter and Janet Welsh Brown, 1996: Global Environmental Politics, second edition, Westview  
砂漠化対策総合検討会、1996: 砂漠化対策ハンドブック、社団法人海外環境協力センター  
進藤雄介、2000: 地球環境問題とは何か、時事通信社  
United Nations Environment Programme (UNEP)、1997: World Atlas of Desertification, 2nd Edition  
World Commission on Environment and Development, 1987: Our Common Future, Oxford University Press  
米本昌平、1994: 地球環境問題とは何か、岩波新書

#### 参考になるホームページ

砂漠化対処条約事務局 <http://www.unccd.int/>  
The Global Mechanism (砂漠化対処条約の資金メカニズム。IFAD がホスト。) <http://www.gm-unccd.org/>  
Earth Negotiations Bulletin (地球的環境交渉の行われてる期間、毎日会合の状況を報道。砂漠化対処条約を含む各種条約や国連の各種会議。) <http://www.iisd.ca/voltoc.html>  
財団法人地球・人間環境フォーラムの砂漠化問題のページ(環境庁からの砂漠化問題に関する請負業務の報告書を中心に情報を提供。) <http://www.shonan.ne.jp/~gef/desert/>  
UNDP Office to Combat Desertification and Drought (UNSO<sup>1</sup>) <http://www.undp.org/seed/unso/index.htm>  
フランス Institut de recherche pour le développement (IRD) (旧 ORSTOM) (砂漠化問題の発祥の地である西アフリカに関する情報が豊富。) <http://www.ird.fr/fr/>  
CILSS (Comité permanent Inter-Etats de Lutte de contre la Sécheresse dans le Sahel: Permanent Interstate Committee for Drought Control in the Sahel) [http://www.cilss.org/index\\_ang.html](http://www.cilss.org/index_ang.html)

<sup>1</sup> 略称には、かつての名称「United Nations Sunano-Sahelian Office」を引き継いでいる。